



《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

夏休みの取組には 力作がたくさんありました

今年の夏休みも、コロナ禍前に戻ることは難しく、いろいろな制限・制約のもと、子供たちは過ごしたのではないのでしょうか。なかなか終息というわけにはいかず、もどかしい限りです。

そのような中であっても相和っ子はたくましく、夏休み中に行った数々の取組は目を見張るものがありました。これも、保護者や地域の方々の支援のおかげであると強く実感しました。

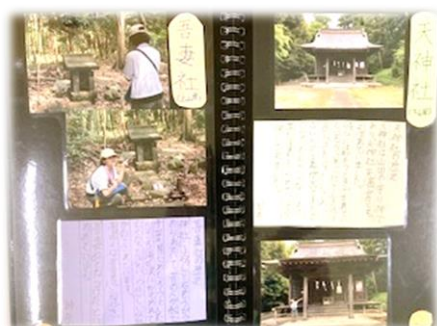
私自身も一保護者だった経験から、子供たちの自由研究は夏休み最大の「難関」でした。とはいっても、多くのかかわりは妻が担ってくれていたもので、私は少しでもサポートできればという役回りでした。水質調査ならばいろいろなところに一緒に出向き、フィルムケース(デジカメやスマホが主流の今では見ることはほとんどありません)を使って採取したり、日本の城を調べるとなったら、旅行がてら直接現地に出向いたり、今では懐かしく思います。

さて、今回の子供たちの取組を改めて見てみると、インターネット等から得た情報を貼り付けたものは皆無に等しく、どれも実践が伴っていることがよくわかります。たとえば思うとおりにはいかなくても、自分の諸感覚を使って考えたものは、今後の財産になります。昨年度も感じたことですが、本当にすばらしい限りです。

各クラスでは発表会が行われ、刺激し合ったとの報告もありました。ちょっと気が早すぎますが、次年度の取組が今から楽しみにになりました。



廊下に並ぶ5・6年生の力作



相和地区の神社調べ(4年生)



あさがおのはなぞめ(1年生)

「子育てアラカルト⑫ ～だれかのために生きる～」

8月上旬に、久々に仙台に住む次男のところを訪れました。仙台家庭裁判所で調査官の仕事をしている次男は、少年審判や家事審判に関わり、多くの方が幸せな今後を送れるよう、可能な限り必要な調査・調整をしているとのことでした。しかし、なかなかハードな業務のようで、うまくいかないことも少なくないとのこと。何はともあれ、とりあえず元気そうで安心しました。

さて、東日本大震災で仙台も被災をしたことは周知のとおりですが、せっかく仙台に出向いたこの機会に、荒浜小学校という震災遺構を訪れました。学校自体は統合されて、今は遺構として当時の様子を後世に伝えるべく、見学ができるように整備されていました。とはいえ、被災後の様子が数多く垣間見え、写真展では、当時の状況が非常によくわかるものが展示されていました。8月29日の朝会で、写真とともに子供たちにその様子を伝えたところです。

改めて、人間は、「生きている」というよりも「生かされている」と、私自身感じるがあります。食事は、他の動植物の命をいただいているのであり、日常では多くの場で誰かの支援が必要になります。だからこそ、時にはだれかの優しさに甘えることが必要で、時には悩み困っているだれかのために優しさを伝えることが必要なのではないのでしょうか。「人権」の基本である「幸せでありたい」「自由でありたい」「生きていたい」も含め、自分のため、そしてだれかのために生きたいと考える今日この頃です。

校舎と体育館の改修工事が進んでいます ～子供たちと教職員 みんなで「魂」をこめる！～

子供たちの夏休みが始まった7月21日から、校舎の改修工事が始まりました。多くの業者の方々が関わってくださり、校舎及び体育館の床や内壁等を中心に塗装が施されました。今までより明るくなり、ありがたく思います。

現在は、浄化槽や、校舎及び体育館の外壁、防水加工の施工が引き続き行われています。それに伴い、水道は出るのですが排水はできないため、手洗い場の制限や仮設トイレの使用、室外機が取り外されているためエアコンの使用が不可となるなど、子供たちや教職員に負担をかけており、申し訳なく思います。足場の撤去は、9月下旬から徐々に始まり、10月半ばにはなくなる予定です。

8月29日の朝会では、「工事の方々が気持ちを込めてきれいにしてくださった校舎です。これから掲示物などをどのように整えて、自分たちの学校にしていけるかは、みなさんの役目です。ぜひ『魂』をこめてください。」と難しい言葉を投げかけました。毎日少しずつ様変わりしていく教室を見ていると、私もうれしくなってきます。

コロナ禍ですが、保護者や地域の方々にお越しいただき、ご覧いただければ幸いです。



ピカピカの床と新調したライン



玄関・保護者通用口もすっきり



2階廊下も明るくなって

保健集会【9月13日(火)】

～十分な睡眠が大切～

健康的な生活を送るうえで、食事や運動、そして「睡眠」が大切であることを、健康委員会の児童がアンケートをもとに集会でプレゼンしました。

当日は、タブレットを使ってリモート形式で実施し、とても効果的な集会となりました。

本校の児童は、あくびをしている子が少ないと感じています。また、給食についても残食量が少なく、バランスよく食べています。これも、各家庭で、生活習慣に対するご指導がなされているからだと確信しています。

プレゼンでは、タブレット等の視聴によるブルーライトのことも話題にされていました。何事も、便利なものを使う場合は、「それに伴って失うものがある」ことを考えていきたいものです。



授業参観と懇談会は中止に

～懇談会資料をお配りします～

PTA運営委員会の場において検討し、9月1日付け文書ですすでにご連絡済みですが、昨年度に引き続き、9月16日(金)実施予定だった授業参観及び懇談会は中止とさせていただきます。

子供たちの様子をご覧いただく絶好の機会をなくしてしまうことになり、申し訳ありません。

ただ、今回の措置は、同日の同じ時間帯に多くの方がお集まりいただくことを避けることにありますので、個々にご相談をいただければ、ご参観いただけるよう調整いたします。お気軽にご一報ください。

なお、当日予定していた家庭教育学級については、情報モラルを扱う予定でした。これについては、継続して毎年扱っていきたい内容であると捉え、延期とし、今後改めて実施していきたいと考えています。その際は、ぜひ多くの方々のご参加をよろしくお願いいたします。

また、これまでの子供たちの成長の様子については、各担任が資料を作成し、明日配付いたします。併せて、保護者の皆様からご意見をいただけるよう用紙も準備しましたので、どうぞご活用ください。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）を受けました ～脈々と受け継がれてきた本校PTAの数々の取組に感謝～

9月8日(木)に、本校のPTA活動が認められ、本校PTAが標記表彰の被表彰団体となりました。当日は、県内の小・中学校、高等学校そして特別支援学校の39団体が神奈川県庁で表彰を受け、本校PTAは、代表として武松会長さんが賞状を受け取りました。

家庭数の減少から、諸活動をいろいろと見直しをしてきたところですが、学校や地域と協働し、団体として十分機能していることを誇らしく思います。本当におめでとうございました。



表彰式に出席された武松会長